

### 代表理事挨拶 安田尚道

#### 市民の輪を広げ、生活を豊かにするコミュニケーション

暑い日が続いておりますが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。本年度は 4 月より JAIFA (生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会) 茨城県協会の皆さまのご支援により子ども食堂が始まりました。また、常磐大学のボランティア団体である TSS の企画により「いきいき with you 塾」のお子さんと親御さんととともに、9 月には BBQ を行うことになっています。TSS の学生は、参加くださる親子の皆さまだけでなく、自分たちや私たちスタッフの思い出となる暖かい一日を作ろうとしています。

子ども食堂は、実際に食事を作ってくださいボランティアの方々や食材を提供してくださる皆さんの温かい気持ちが JAIFA のご支援の気持ちとつながって事業として展開しています。皆さまのこれらの気持ちが通塾する子どもたちや親御さんに伝わり、これが暖かい気持ちとなってボランティアの方々に伝わる循環を描いています。TSS の活動もまた同様に、「東日本大震災」の「子ども元気プロジェクト」の活動経験に基づいています。ボランティア活動の経験が先輩から後輩へ伝わり、その年ならではの活動のスタイルを創り上げています。

本年度は、これらをはじめ、「とまと倶楽部」における市民農園活動、かみね公園の花壇づくりの「花友」活動、「さくらんぼキッズルーム」の病後児保育活動など、本法人が関与する諸事業、諸活動を担っていただいている市民の皆さまとこれに関係する諸団体の方々と経験交流会を開催し、お互いの活動を伝えあっていく予定です。

「世のため、人のため」そしてこれが自分の生活を豊かにすることを実感しながら、また、皆様とともに、歩んでいきたいと思えます。活動のなかで気持ちを伝えあえ、経験したことを伝えあうなかで、市民の輪が広がり、生活を豊かにしていくのだと思えます。コミュニケーション(伝えること)により生活を豊かにし、市民の自立を支え合うことになるのでしょうか。本年度もよろしくお願いいたします。

### 「2018年度 第17回通常総会」開催

本年度 with you の通常総会を平成 30 年 6 月 9 日(土)午後 3 時 30 分から午後 4 時 45 分まで、日立市社会福祉協議会 会議室にて開催いたしました。正会員総数 24 名中、15 名(委任状が 5 名、書面表決 4 名を含む)が出席し、全ての議案が承認されました。ありがとうございました。

#### 《2017 年度事業報告》

- 自主事業…①「ふれあい貸し農園とまと倶楽部」事業 ②「一時預り保育事業」
- 支援事業…①「かみね公園ボランティア花友」里親活動
- 補助事業…①震災支援活動(JKA 補助事業) ②「土浦市学習支援事業」(内閣府子供の未来応援基金事業)
- 委託事業…①「かみね公園入口花壇管理事業」(日立市委託) ②「日立市学習支援事業」(日立市委託)  
③「病後児保育事業」(日立市委託)

#### 《2018 年度事業計画について》

- ①生き活きとした豊かな市民社会の実現を目指します ②「東日本大震災」で被災した親子を支援します



- ③市民農園事業を通して、地域交流や生きがいづくりを支援します
- ④子育てと就労の両立を支援します ⑤花と緑のまちづくりを進めます
- ⑥子どもの教育の充実を進めます(今年度より子ども食堂「キッチン・さくらんぼ」や「はてな?に答える学習室」の充実をすすめます)



## はてな?に答える学習室

「はてな?に答える学習室」とは・・・  
学習室を利用する小・中学生を対象とし、自主学習の中でわからないことや疑問に思ったことに、学習支援員が答えます。

●日時：毎週月曜日 17時～21時

●場所：教育プラザ学習室

40席、無料開放中!!ぜひご利用ください。



## 学習支援事業

withyou 塾生を対象とした、子ども食堂「キッチン・さくらんぼ」を開催しました。

開催日：4/17、5/22、6/25

6名のボランティアの方々の協力を得て、毎回おいしい食事を提供しています。

毎月のメニューは、子どもたちにも好評で、おいしそうに食事を囲んでいます。



6月のメニュー

- ・親子丼
- ・お吸い物
- ・中華サラダ・ゼリー

## 会員募集

●正社員 個人 5,000円 団体 10,000円 学生 3,000円

●賛助会員 個人 1口 5,000円を1口以上  
団体 1口 10,000円を1口以上

●情報会員 個人 3,000円 団体 5,000円

※詳細は事務局にお問い合わせください

## 学習支援に関わって

南部教室講師 須田 昭

南部教室には、小学生9名、中学生4名が通塾しています。講師は大学生の増子さん、大学院生の周さんと私の3人で生徒たちと楽しく過ごしています。

今、子どもの貧困は7人に1人といわれています。親もダブルワーク、トリプルワークと子どもとゆっくり話す時間もなく家庭の崩壊が現実の問題として突き刺さっています。子どもたちにとって「居場所」がないわけがあります。

私は、教室が「居場所」として、暖かく迎え入れ、学習や生活面の悩みを一緒に考える場であると考えています。私は子どもたちと接するとき大切にしているものがあります。それは憲法13条です。「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求にたいする国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする」と憲法が提示しています。人間は一人ひとりが素晴らしい個性をもって生まれ、生きています。それらを保障し、尊重することは国の責任なのであります。しかし、国の施策は届いていません。少しでも子どもたちに「夢と希望」を持ってもらうために自分自身が今できることで、努力していきたいと考えています。



## 編集後記

今年は、日立市の委託事業に会計検査院が入り、毎日、事務処理に追われ大変でした。夏本番前に、バテてしまいそうです。【事務局】